

皆様こんにちは！久しぶりに早く更新をすることができました（いつも遅くてすみません…）

今回は1/14（日）に曾根崎警察コミュニティプラザで行われた「NESSO with コンサート 冬の高校生特集」のレポートです。

このライブの最大の特徴は「1980年代以前の曲を演奏すること」です。なぜなら、来場されるお客さんのほとんどがその地域にお住まいの40歳オーバーの方々なので、その層になじみのある曲をしようということになっているからです。なぜか我が英真学園軽音楽部はここ2年ほどはNESSOにはアコースティックバンドで出るという流れができてしまっていて、今回も2年生男子3名がボーカル・アコギ・カホンという構成で出演しました。



本番直前、舞台袖にて。3人ともそれなりにキャリアを積んでいるはずなのに、えらい緊張しています。



でもそこはやはり上級生。本番になるとスイッチが入ります。松田聖子「Sweet Memories」と竹内まりや「元気を出して」をしつとりと歌い上げました！

さしたるミスもなく(?)出番を終えることはできましたが、聴いていた感想としては、「うーん、無難にこなしたなあ」という感じが否めませんでした。選曲が2曲とも王道バラードであったため、2曲めの時にはお客さんが飽きてしまったと思います。以前出演した先輩たちはそのあたりも考えて選曲をしていたのですが、やはり「自分たちがやりたい曲」ばかりではなく、「お客さんが楽しめる曲」を選ぶ必要があります。今回は特にそれが顕著になりました。もっと先輩から学ぶべし!!!

後は、単純に練習が足りていません。「年内には完成させておくように」と伝えてはあったのですが、フタを開けてみれば本番1週間前でもまだコードを覚えていない状態でした。日頃から「練習で120%できる曲でも本番では80%できればいい方だ」と言っていますが、それも今回身をもって知ることができたと思います。しかし、「自分たちが好き勝手にやるライブ」ではなく、連盟の行事に「英真学園軽音楽部の代表」として出演しているのですから、もっと自覚をもって取り組まないといけません。

以上2点が今回浮き彫りになった課題ですが、それも「出演する」というハードルを越えたからこそ見えたものです。この調子でたくさんの方にガンガン挑戦していき、ぶつかっては乗り越えて成長してってほしいものです。軽音楽部一同頑張りますので、また皆様の応援もよろしくお願い致します!!



**おつかれさまでした!!!**